

「痛み押しつけ」ムダづかい 17年度予算案を

日本共産党 松田せいけい 市議が問う

市長は「危機的な財政状況にある」として「市民局のスリム化を図る、行財政改革大綱を各般にわたって速やかに実施していく」など提案説明しました。「合併すれば財政はもつ」と住民に説明していたこととは大違い。松田市議は「新市財政計画は市民への約束であり、合併の最大の理由であったはず」と指摘し、17年度予算案の問題点をすくなく追及しました。

### 歳入計

【17年度予算】	289.8億円
【財政計画】(17年度)	368.4億円
【6町の歳入実績】	
13年	367億円
14年	346億円
15年	344億円
16年	317.6億円
【財政計画】(16年度)	374.2億円

### 新市財政計画を78億円も削減の予算、合併特例債活用わずか

特例債は10年間で375億円(事業債)活用できる計画が、2年間では26億円のみとなっています。

特例債も活用して、毎年72億円から104億円の普通建設費が予定されていましたが実際は、災害対策事業を含めても33億円程度(17年度予算)。特例債は、将来返済しなければならぬ借金で、「使えないのでは」との追及に、市は公債比率(17年当初予算)は20%、起債制限比率11%(過去3年平均)と赤信号であることを明らかにしました。

### 地方交付税31億円も減

新市財政計画で149億円とされていますが、17年度予算では118億円と31億円もの大幅減。市長は「全国的な減額状況におどろいている、歳入に合わせて歳出を決定せざるを得ない」と、市民サービスの切り捨てをすすめています。

市がすすめる「行財政改革」をすすめるしくみの批判

### 「市民局の強化こそ本当の改革」

『子どもが減ったから学校を統廃合ではなく、子どもを増やす努力こそ真の「改革」でなければなりません』。また、市の周辺部をさびれさせるスリム化ではなく、『市民局は市民と接する「最前線」の強化こそ「改革」であり、市民へのサービス向上、暮らし・福祉を守るという自治体の役割』であると具体例を示して提案しました。



### 今本当に必要でしょうか

- ◇ 静御前公園整備に5千万円
- ◇ アメニティ久美浜に1億5千万円
- ◇ 網野八丁浜シーサイドパークに1億円
- ◇ イベント飛天 補助金1千万円

## 市政報告会

とき 4月20日(水) よる7時30分～  
ところ 峰山総合福祉センター

市長オール与党会派が痛み押しつける「行革」推進競う

● 財政健全化は人件費削減が一番の近道。……

● 行財政改革は「計画」を待たずに先取りして実施すべき。……

● 市職員が多すぎる。……

競い合うようにオール与党会派の「行革」推進発言に市長は、「人件費のスリム化は欠かせない」「市民局の規模見直しを検討している」「3セクも全て赤字であり民間委託を検討」「補助金を見直す」など、合併前に「合併すればよくなる」の説明とは大違いの答弁を繰り返す。市民に痛みを押しつける、「行財政改革」を強力に進めることを表明しました。